令和７年度 青少年育成南アルプス市民会議　Vol.22　2026年（令和8年）3月発行

南アルプスの青少年

毎月 第１日曜日は「家庭の日」　第3日曜日は「青少年を育む日」

CONTENTS

- 青少年育成南アルプス市民会議の概要（P2～3）
- 市民会議「各支部だより」（P4～P5）
- 令和8年南アルプス市二十歳のつどい（P6）
- 令和7年度ジュニアリーダー養成研修（P7）

山梨県南アルプス市
こども・子育て
応援宣言

編集・発行
南アルプス市教育委員会事務局
生涯学習課
ＴＥＬ：055-282-7778
ＦＡＸ：055-282-6427
MAIL：kshogai@city.minami-alps.lg.jp

MINAMI-ALPS BIOSPHERE RESERVE
南アルプス
ユネスコエコパーク

●青少年育成南アルプス市民会議の概要

南アルプス市では、青少年の健全育成活動を支援し広げていくための組織として、市民会議の各支部専門委員会や、青少年育成推進員・自治会・育成会・子どもクラブ・学校・ＰＴＡ等と連携・協働を図り、地域の人材や資源を活かし、地域に根付いた事業、活動を推進しています。

◆総務委員会 ・・・ 会議運営・イベントや研修会、講演会の開催・広報紙の発行

◆環境委員会 ・・・ 環境点検・危険箇所点検・市内実態調査・愛のパトロール

◆青少年委員会・・ あいさつ運動・「家庭の日」「青少年を育む日」の啓発・子ども若者育成支援推進大会

重点目標

- 地域と学校の連携・協働の推進
- 声かけ、あいさつ運動の推進
- 明るく楽しい家庭づくりの推進
- 青少年の社会参加活動の推進
- 安心、安全な地域づくりの推進
- 青少年の非行防止活動の推進

スローガン

「子どもたちのために できることを
地域みんなの力をあわせて
増やしていこう」

会長挨拶　青少年育成南アルプス市民会議 会長 窪田 淳子

一年の活動を振り返って

この一年間、市民会議の活動に携わり、慣れないながらも一つ一つの役割に懸命に取り組んでまいりました。初めて経験することも多く、戸惑いや不安を感じる場面もありましたが、その分、さまざまな方と関わり合い、多くの学びと気づきを得ることができた充実した１年だったと感じています。

活動を進める中で、地域の皆さまや学校関係者の方々、そして市民会議に関わる多くの方々に温かく支えていただきました。一人では決して成し遂げることのできなかった事ばかりで、人とのつながりや支えあいの大切さを改めて実感しております。

行事や日々の活動を通して、子どもたちの元気なあいさつや笑顔に触れられたことは、何よりの喜びでした。この一年で得た経験と多くの思い出を、今後の活動に活かしていきたいと思います。これまでご協力いただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

青少年育成南アルプス市民会議

●関係する団体および機関

市青少年総合対策本部
市社会教育委員
市青少年育成推進員
市青少年育成会
市子どもクラブ指導者連絡協議会
市自治会連合会
市連合PTA
市小中学校校長会
市少年補導員連絡協議会
市民生委員児童委員協議会
市スポーツ少年団本部
市保護区保護司会
市女性団体連絡協議会
その他青少年関係団体および機関

●救急講習会

令和７年６月27日（金）

地域のイベントの増える夏休みを前に、有事の際に行動できる技術を身に付けるために救急講習会を開催しました。

ベテランの看護師を講師に招き、夏場に注意すべき熱中症対策や、実際にAEDを使った心肺蘇生法、ケガの応急手当の方法を学びました。

●ラジオ体操講習会

南アルプス市子どもクラブ指導者連絡協議会では、夏休みを前に、指導者である大人が「正しいラジオ体操の動きを身に付ける」ことを目的にラジオ体操講習会を開催しました。

指導は全国ラジオ体操連盟理事である岡部和子様に依頼し、正しいラジオ体操の動きを知る良いきっかけになりました。

●市内一斉あいさつ運動

令和7年11月4日（火）～11月7日（金）

青少年委員会を中心に、市内全域であいさつ運動を展開しました。この運動では、「あいさつ」から青少年の健全育成の輪を、地域・家庭・学校で広げていくねらいがあります。みまもりたすきを身につけて、子どもたちの通学時間帯に合わせ、学校周辺や通学路付近で互いに距離を保ち実施しました。

●子ども若者育成支援推進大会

令和7年11月18日（火）

11月の「子供・若者育成支援強調月間」「秋のこどもまんなか月間」に合わせて、子ども若者育成支援推進大会を開催しました。「南アルプス市児童虐待防止市民講座」として、渡邉 直 氏を講師に招き『怒鳴らない、叩かない、ディスらない』非暴力コミュニケーション（機中八策）について学びました。

Topics

各支部だより

八田支部　ふれあいウォークラリー大会

八田支部では、10月19日（日）に御勅使南公園において、市スポーツ推進委員会主催の第23回ふれあいウォークラリー大会に共催し開催しました。

令和５・６年度は同時期に支部主催でウォーキング大会を開催しましたが、今年度は上記大会が地元の御勅使南公園で行われるということで、検討の結果、市スポーツ推進委員会主催の事業に共催し開催しました。

当日は、あいにく小雨模様の天気でしたが、参加者は家族や友達とクイズやゲームを楽しみながらウォーキングしていました。

白根支部　生き生きとした子どもたちの姿に感動！（桃っ子祭り）

11月３日、第42回桃っ子祭りを開催しました。

40 年以上続くこのお祭りは、子どもたちによる舞台発表を中心に、子ども同士異年齢交流の場として、また子どもと大人をつなぐことを目的に行われています。

当日は、練習を重ねてきた子どもたちが、生き生きとした表情で舞台に立ち、日頃の成果を存分に発揮しました。

最後に抽選会が行われ、校長先生方にご協力いただき抽選番号が読み上げられるたびに、会場は大きな歓声と期待に包まれました。最後まで子どもたちの元気な声と笑顔があふれていました。

芦安支部　地域で、仲間との絆を深める

去る８月、芦安地区で初となる『あしやす防災キャンプ』を開催しました。

本企画は「教育を語る会」で、子どもたちや保護者から「学校でキャンプをしたい」という声が上がったことがきっかけです。これを受け地域一丸となって協力体制を築きました。内容は防災テントの設営体験、さらには防災士による講義など、子どもたちの身を守る術を学ぶ貴重な機会となりました。「地域の声」を夏休みに即座に実現できたことは、素晴らしい一歩となりました。

若草支部

ミニだるま絵付け体験開催

若草支部では、11月1日（土）にわかくさホールにおいて、支部主催のミニだるま絵付け体験を開催しました。瓦会館の協力をいただきスタッフの指導のもと30組の親子が絵付けを体験しました。甲州十日市だるまは十日市祭典の名物として長い間親しまれています。体験の募集をしたところ、受け入れ予定人数を大きく上回る応募をいただきやむを得ず抽選となりました。

当日は自分だけのだるまづくりということで、親子で話し合いながら絵付けを楽しむことができました。

櫛形支部　あいさつは社会生活のはじまり

「おはよう」から学校生活が始まる。朝の会、国語算数理科社会、どんな勉強してるのだろう。チョークは、まだあるのかなあ？　黒板は？

あれから 50 年 私の小学校時代は、

「先生、おはようございます」から始まった。

今も変わらないだろうか。

「さあ！これから仕事、おはようから始めよう。」

甲西支部

知り合うこと・関わり合うことは、地域を支えること

うまく的に当たれば、賞品がゲットできる。

甲西子どもまつりの 「ダーツコーナー」です。

多くの甲西中生徒が、まつりを支えてくれた。

一緒に楽しもう、楽しませよう。

「よく来たね、真ん中ねらって」

「ヤッター 100 点だ !!」

まつりが、人と人をつないでいる。

令和８年 南アルプス市 二十歳のつどい

令和８年１月11日（日）
桃源文化会館にて「令和８年南アルプス市二十歳のつどい」が開催され、今年度20歳になる650人が出席しました。

二十歳のつどい実行委員会

私たちのまちの「二十歳のつどい」は、その年に20歳を迎える有志のメンバー10名による実行委員会で式典を運営しています。企画から司会進行までを実行委員会が行っていることを皆さんご存じですか？自分たちの式典をより良いものにしようと当事者のみなさんが活躍しています。

フォトスポットなどアトラクションも実行委員会で考えて、自分たちの「二十歳のつどい」を盛り上げました。

風の強い日でしたが晴天で、参加者の笑顔があふれる素晴らしい式典となりました。

●青少年育成事業

ジュニアリーダー養成研修

研修生は、地域や学校を超えた仲間と、団体活動を通じて自立・協働・創造を体験的に学習し地域や学校で活躍できるリーダーを目指しています。

（参加希望者は随時受け付けています。）

北杜市ジュニアリーダーと交流

北杜市にある「八ヶ岳青少年自然の家」にて、北杜市ジュニアリーダーと宿泊交流会を行いました。

交流会では、様々なレクリエーションや火おこし体験などを行いました。仲間と協力して、食事の準備も頑張りました。

櫛形山登山

櫛形山の防鹿柵点検ボランティアに参加しました。自分たちの里山である櫛形山の抱える問題について、現地で五感を使って学習することができたとともに、地域の大人が協力して自然を守っている様子から地元への愛情を感じることができました。

軽スポーツ体験

軽スポーツ体験を行いました。あいにくの雨で、室内での体験となりましたが、モルックとラダーゲッターのルールを学びながらスポーツ推進委員と一緒に楽しみました。

二十歳のつどいへ参加

先輩である二十歳のつどい実行委員のために、南アルプス市にゆかりのある小笠原流礼法の「菊花結び」を作成し、プレゼントしました。

二十歳のつどい当日は、受付係と式典の見学をしました。参加したジュニアリーダーは二十歳になった自分の姿を思い浮かべている様子でした。

お知らせ

●国内友好姉妹都市交流事業

南アルプス市では、北海道津別町・東京都小笠原村・石川県穴水町の3つの都市と、姉妹都市協定を結んでいます。毎年、協定先の町村と交互に小中学生の訪問と受け入れを行い、青少年の体験活動と交流の機会を提供しています。

目　的

＜訪問＞

姉妹都市間の友好関係を深め、交流先の異なる地域での体験を通して今後における活動の視野を広めると共に、外から見た南アルプス市の良さに気づく機会とする。

＜受け入れ＞

南アルプス市に招いた訪問団に「南アルプス市の魅力」を伝えるために、一緒に体験活動に参加する。その中で、姉妹都市間の友好関係を深め、互いの良さを学び、今後の交流につなげていく。

令和８年度の予定

訪　問　東京都小笠原村（令和８年８月下旬）
石川県穴水町（令和８年８月上旬）

受入れ　北海道津別町（令和８年７月下旬）

●令和7年度「家庭の日」「青少年を育む日」応募作品の紹介

青少年育成南アルプス市民会議では、明るい家庭づくりを目的として毎月第１日曜日を「家庭の日」とし、家族そろってあたたかい心のふれあいを図っていただくよう呼びかけています。

この運動の一環として、市内小中学生に啓発作品の募集をしたところ、895点の応募がありました。市民会議青少年委員会にて厳正なる審査の結果、選ばれた38作品を紹介します。

お問合せ先／南アルプス市教育委員会事務局　生涯学習課　生涯学習・青少年担当　☎055-282-7778